

小中学校校務システム更新事業

これまで学校の教職員が使用していた校務システムが更新時期を迎えたため、文科省の進める「令和の日本型学校教育」を目指し、GIGA スクール構想下での校務 DX として ICT を用いた教育の充実とそれに併せた教職員の働きやすい環境づくりを目的に校務システムの更新を行いました。

1 運用開始日

令和7年9月1日

2 更新内容

校務システム(Microsoft365・Teams 等)、教員用端末、プリンターなど

3 事業費

570,233 千円

※システム構築、物品リース(5 年間)・保守(5 年間)の総額

4 概要

- ・ 文科省の示している「フルクラウド化」「ネットワークの統合」「ロケーションフリー」の環境整備を長野県で初めて行い、それに伴うシステムセキュリティの強化を行った。
- ・ 校務と学習との隔たりがなくなったことで、より授業の充実や先生方の働く環境整備が行われた。なお、第 2 期の GIGA スクール構想の推進にも一層寄与する。

5 効果

- ・ 授業における教材の提示や授業づくりがより効率化され、子どもの意見交換や学習記録とその蓄積が容易となり、主体的で対話的で深い学びが可能。(個別最適な学び×協働的学び)
- ・ 教員は校務と授業で別の端末を使用していたが、教員用端末を1台へ集約したことで校務と学習との隔たりをなくし、より効率的な業務が可能。
- ・ 「フルクラウド化」「ネットワークの統合」により端末を使用する場所が固定されず、職員室のみならず教室や会議室でも校務が可能になるため、教職員の働き方改革の一助に寄与する。
- ・ フルクラウド化によって、常にアップデートされており、セキュリティの更新も頻繁に行われ、常に最新の状態を維持して利用できる。(文科省の推奨するセキュリティ対策を担保)
- ・ データでの共有が容易となったことで業務における紙の使用を削減が可能(ペーパーレス化)

6 今後の展望

- ・ 今後子どもたちの端末も一新されることで、教育における ICT 教育にも一貫性が見いだされ、より一体的な教育の充実が可能となっていく。

(問合せ先)

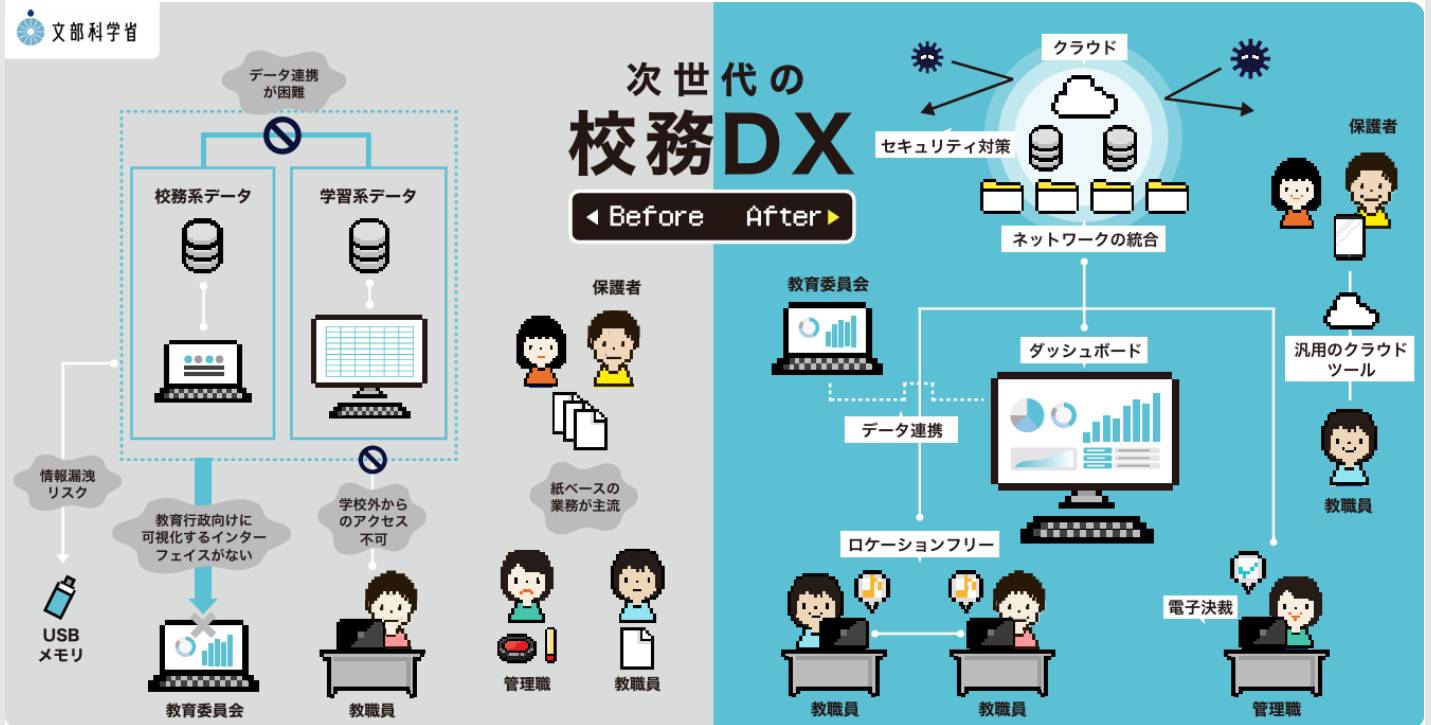
担 当 こども部学校教育課 渡辺、山崎

電 話 0266-72-2101 (内線 605)

メール ictkyoiku@city.chino.lg.jp

校務システム更新

文部科学省



クラウド



- ✓ ファイルサーバをクラウド (Teams) に統合し移行します。
- ✓ 極力設備を持たず、セキュリティ機器など含めて、SaaSで提供します。

セキュリティ対策



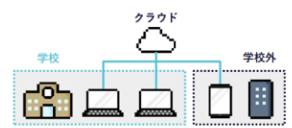
- ✓ ファイルサーバ(Teams)にアップロードしたファイルを自動で暗号化します。
- ✓ 物理認証鍵での多要素認証を導入します。
- ✓ アクセス制御を前提としたゼロトラストセキュリティを導入します。

ネットワークの統合



- ✓ 校務系を学習系ネットワークに統合します。
- ✓ インターネット回線の通信帯域を増強します。
- ✓ 既存のEntra IDアカウントにユーザーIDを統一します。

ロケーションフリー



- ✓ 校内に学習系ネットワークの無線APを増やします。
- ✓ 校務端末を出張先などでも、安全に業務ができるようにします。

先生は端末1台で
校務と学習環境につながる

どこでも
校務システムを利用できる

出張先でも
校務端末で業務ができる

USBの紛失リスクがなくなる

先生はアカウントが1つだけに